



中野 正剛議員

Q 再利用できる粗大ごみをメルカリで販売できないか

A 本市でも実施できる手法について研究・調査を行う



その他の質問

- ・紙おむつの処理について
- ・新市立図書館中部館について
- ・住まいのエンディングノートについて

Q 彦根市での粗大ごみの排出量は年間どれくらいか。

A 令和5年度は約1,896 tあった。

Q 再利用できる粗大ごみは出てくるのか。

A 搬入・回収される粗大ごみの中には、家具や椅子のほか、自転車など再利用が可能だと思われるような粗大ごみがある。

Q 彦根市では粗大ごみをどのように処理しているのか。

A 粗大ごみは破砕機で細かくした後、可燃性の破砕物は焼却し、金属の破砕物は売却している。

Q 再利用できる粗大ごみをメルカリで販売できないか。

A 他市町ではメルカリを使って再利用できる粗大ごみを販売している例もあるし、民間事業者と共同でメルカリのビジネス版である「メルカリSHOP S」を開設し販売している例もあるので、本市で実施できる手法について研究・調査していく。



▲清掃センターに搬入された粗大ごみ



奥野 嘉己議員

Q 議会の議決事項をふまえた物品入札業務の改善は

A 物品入札について改善に努める



その他の質問

- ・ふるさと納税の現状と今後について
- ・ふれあいの館の閉館について

Q 全国の多くの市で、物品購入に際し地方自治法違反である議会の議決事項（当市の場合2,000万円以上は議決を要する）を無視するような事案が報道されている。物品購入入札に当り、入札結果表へ購入数と合計金額の記載は。

A わかりやすい記載を研究するとともに、担当課へ合計額に注意するよう指導を行う。

Q 入札監視委員会の審査対象に物品を含めては。

A 現在のところ考えていないが、今後研究していく。

Q 議会の議決を除外されている企業会計では、予算時に別添資料等の説明資料を求める。

A 予算説明資料の“主要事業”に事業概要等の記載を検討する。

Q 消防車両入札結果には、税等の諸費用は別記することを求める。

A 諸費用を別記し、車両本体価格がわかるように対応する。





和田 一繁議員

Q 観光交流人口の増加を目的とした市民活動に支援を行うべきでは

A 市民自らが実施する事業の具現化の手法を今後に向けて検討する



その他の質問

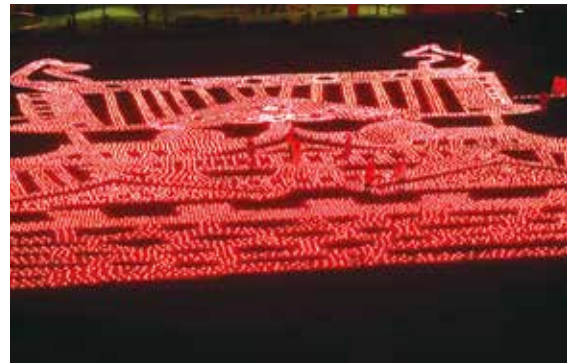
- ・ラーケーションの取組について

Q 観光交流人口の増加を目的とした市民活動に対する支援事業を行うべきでは。

A 世界遺産登録推進の機運醸成の意味でも、行政側からのアプローチだけでなく、市民自らが実施する事業、市民からの意見を吸い上げ具体化するための手法の導入は必要であり、今後に向けて検討する。

Q 市民が参加し達成感が味わえる事業などが必要だと思いが見解は。

A 市民参加型イベントは、参加者がお城や地域に直接触れ合うことで、改めて愛着を持つことができる。さらにスタッフを含めた参加者同士が交流することで、つながりが生まれる。参加者が一緒に感動を共有し、達成感を味わえる事業については、今後も継続して実施していく考えである。



▲2006年多くの市民が参加し開催された2万灯のひこねキャンドルナイトイベント



疋田 菜穂子議員

Q 世界遺産登録の意義、登録後に見込まれるメリットは何か

A シビックプライドを高め、持続可能なまちづくりを行う契機とできる



その他の質問

- ・大雨で崩落した米蔵水門石垣の補修予定について
- ・彦根城でデジタルチケットを導入する予定はあるか

Q 世界遺産登録の意義は。

A 世界遺産登録により、知名度向上や、観光客の増加による経済波及効果が見込める。さらに市民のシビックプライドが高まり、持続可能なまちづくりを市民主体で行う契機にできる。

Q 世界遺産登録後について展望は。

A 世界遺産登録を一過性のものにするのではなく、食とおもてなしの開発に努め、まちの魅力を増やし、リピーターを増やしていきたい。

Q 東高、西中、平和堂H A T Oスタジアムは、世界遺産登録の障害とはならないのか。

A 中堀より内側は特別史跡で、スタジアム周辺は世界遺産登録の緩衝地帯候補地になっている。特別史跡内は大規模工事が行えないが、両学校で工事の予定はない。スタジアムは建設時に、城と調和するよう特別の配慮をしており、現在、文化庁、専門家からの指摘はないため、障害にはならない。



▲世界遺産登録をめざす彦根城のチラシ





長崎 任男議員

Q 自治会清掃の問題点は

A 少しでも負担が軽減できるように
努めている



その他の質問

- ・自治会役員のなり手不足問題への対応は
- ・存続危機の自治会を救うためには
- ・市内中学校のいじめ問題の現状は
- ・高校進学時の進路指導は

Q 少子高齢化が進む自治会活動でよく耳にするのが自治会清掃の問題点。暑い時期や休日の早朝から実施される草刈りや河川清掃業務に対し、出役できる人材不足の問題や、除草した草や泥などの最終処分などで困られている事例はあるか。

A 自治会清掃における問題点については、草が繁茂する夏場に作業を行わなければならないことや、地域の高齢化が進む中で、水草に付着した泥の洗浄や、刈草の袋詰め、運搬に係る作業負担が大きいなどのご意見をいただいている。本市としては、過去には、自治会の方に協力いただいていた積み込み作業が不要となるよう、平日での後日回収に変更するなど、少しでも参加される方の負担が軽減できるよう努めており、それぞれに事情をお持ちの自治会様に対しては、直接清掃センターに相談いただければ、話をお伺いしたいと考えている。



▲自治会清掃の様子



辻 真理子議員

Q 住み慣れた我が家で訪問介護を受けることができるか

A 住み慣れた我が家で在宅生活が維持できるよう取り組んでいく



Q 彦根市には、訪問介護事業所は何か所あるか。

A 令和6年9月1日現在で36事業所ある。

Q 訪問介護を利用している人は何人か。

A 本市で訪問介護を利用している人は、ひと月当たり約950人、要介護認定者数のうちの約17%となる。

Q 本市の訪問介護を担うヘルパーさんは充足しているか。

A ヘルパーの不足によってケアプランの作成ができないというような支障が出ているとも聞き及んでいないので、ヘルパーの人材不足は今のところはないものと考えている。

Q 本市では住み慣れた我が家で訪問介護を受けることができるか。

A 第9期彦根市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、高齢者が住み慣れた我が家で在宅生活が維持できるよう取り組んでいく。



▲訪問介護（イメージ）